

らいさま

＜特集＞水・緑資源への思い！

栃木県下野市は、雷とともに夕立が多い地域です。雷は昔から「雷（らい）さま」と呼ばれ、豊かな作物を育てる恵みの雨をもたらす存在としてあがめられてきました。雨降って地固まると言われるように、この情報紙が、豊かな地域づくりにつながるように「らいさま」と名付けました。

下野市自治基本条例とは…

私たち市民にとって、よりよいまちづくりを進めるための基本的な考え方、ルールを定めた自治基本条例（平成26年4月制定）は、特別な規制を設けるものではなく、日々さまざまな活動を行っていく中で、よりよい下野市のまちづくりに役立てていこうとするものです。

- P.2 姿川アメニティパーク
- P.3 グリーンタウンの桜
- P.4 吉田用水
- P.5 天平の丘公園

令和元年 8月
VOL.10

下野朝臣古麻呂
(しもつけぬのあそんこまろ)
(大宝律令の選定に携わった
下野市ゆかりの人物)



下野市は、60を超える都市公園があるほか、鬼怒川、田川、姿川などの河川が本市を流れていて、農業用水路も整備され、水と緑に恵まれているね。今回は、都市公園や農業用水路等を資源のひとつとしてとらえ、代表的なものを取材したんだよ。

本市の豊かな水・緑資源を、利用するだけでなく、将来にむけて大切にしていこうと、みなさんが考えるきっかけになるといいな。

【参考】 下野市の都市公園は人口当たりの面積が県内の市全体で8位でした(東洋経済都市データパック調べ)

グリムの里 事業の奏効 ~物語りのある公園づくり~



1年を通して、市内外の方に散歩やウォーキング等に利用されているよ。あと、春は600mに及ぶ桜堤が見事なんだ。



愛パーク活動として、(公社)栃木法人会 石橋女性部他が美化活動しているんだ。



当時 姿川アメニティパークの設計を担当された
茂木正行氏(ゆうがおパーク副理事長)

公園といえば児童公園の時代、グリムの里づくりの一環であったことからドイツをイメージして、水路と緑をふんだんに取り入れた特徴ある公園を目指しました。できた当初は、ドイツの大学生が遊びに来て、そこで大道芸を披露しました。今も月に一度くらい、大道芸の披露があったらうれしい。



姿川アメニティパークは旧石橋町のグリムの里づくりのハード事業の一つとして、平成2年4月に着工、平成6年3月に都市公園としてオープンしました。このパークは直径6メートルの羽根を持つ高さ10メートルの「風車展望台」がシンボルです。水と緑を活かし、面積約3ヘクタールの憩いと安らぎの場として整備されたものです。

園内には夜になるとライトアップされる風車展望台、約350メートルの流れと池、メイン広場には幅10メートル高さ3メートルの壁泉、あづまや、遊具、ハーメルンの笛吹き像などの施設や、ドイツトウヒ、サクラ、ユリノキなどの樹木約420本、ツツジ約11,000本、草花類約23,000株が植栽されています。



ハーメルンの笛吹き像



つながッテルね!
条例6条

(情報提供)

第6条 議会及び市は、その保有する情報について市民との共有財産であるとの認識に立ち、積極的に、かつ、分かりやすく市民への情報提供に努めるものとする。

樹木観察会が育む郷土愛 ～市内の豊かな木々を知り尽くす取組み～



会で取り付けた木札の一例

会の活動を長く続けるために、代表の吉田さん自身が活動を楽しむだけでなく、会員に居心地の良い場所となることを目指しているんだって。



森林インストラクターの資格をお持ちの代表 吉田春彦氏



木を知ろう森を知ろう会は、平成20年3月に発足しました。団体だけで活動資金を集めながら、次の活動に取組んでいます。

- ①樹木観察会の開催 ②樹木札の取付けとメンテナンス
- ③学校に出向き校庭の樹木の木札付け
- ④ゆうがお通りの樹木マップ作製
- ⑤公開樹木観察会の開催 ⑥植樹活動 となっています。

活動は11年を超え、ほぼ毎月開催している樹木観察会は、通算110回以上にのぼります。

ゆうがお通り周辺だけでも、桜は17種277本あります(同会調べ)。薬師川から薬師ヶ池にかけてソメイヨシノだけでも207本植樹されています。

また、薬師ヶ池周辺は、毎年桜の時期には、じっくり静かに楽しみたい方々が集まってきます。

なお、薬師川周辺は、平成4年度都市景観大賞景観形成事例部門(国土交通省主催)を受賞をしました。

薬師ヶ池周辺の樹木観察会の様子だよ。皆さん真剣に聞き入ってるね。



ゆうがお通り周辺の桜めぐり

平成31(2019)年
3月30日(土)
31日(日)

集合会場 下野市生涯学習情報センター研修室
〒321-3434 下野法庫1-5-1 電話0249-42-0111

集合時間	開演時間	解散時間
午前9時	10:30~	11:30
午後1時	13:30~	15:15

※お申し込みの多い順に受付(先着順)です。定員に達した場合は、抽選となります。

【主催】 下野市生涯学習情報センター 主催 協賛 「木を知ろう森を知ろう会」
【共催】 下野市生涯学習情報センター 協賛 下野市環境局

平成31年3月に開催された公開樹木観察会のチラシ

問合せ先：(会員募集) 連絡先：事務局長 平原氏 080-6639-2035



つながッテルね! 条例13条

(市民の責務)一部抜粋

- 第13条 市民は次に掲げる責務を有するものとする
- (3) 自らがまちづくりの主体であることを自覚し、実践すること。

吉田用水がもたらす潤い～先人の知恵と工夫と調和～



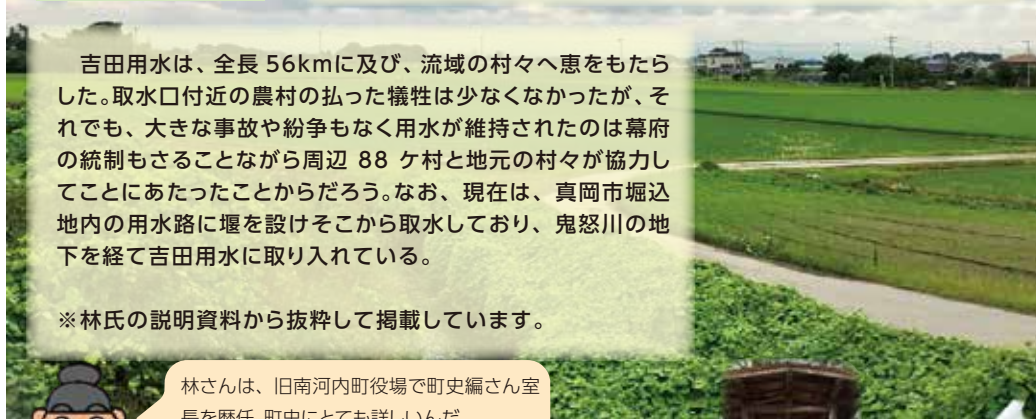
林 安 雄 氏

享保元年（1716年）徳川吉宗が将軍となり、政治立て直しのための改革が開始され享保7年には改革が本格化した。こうしたなかで、新田開発の奨励策と治水が打ち出され、3千町歩に及び飯沼新田（現茨城県坂東市）が開発された。その新田のために新たな用水を開削することになったのが、吉田用水である。

しかし、用水の取水口にあたる農村（絹板村、花田村、延島村、延島新田村）に大きな負担を残した。用水を維持管理するよう幕府から命ぜられ、増水のたびに堰が壊れるなど4ヶ村の財政を圧迫したからだ。また、日光街道の助郷役は免除されるなど、重要な役を担っていた。



現在の取水口（真岡市）



吉田用水は、全長56kmに及び、流域の村々へ恵をもたらした。取水口付近の農村の払った犠牲は少なくなかったが、それでも、大きな事故や紛争もなく用水が維持されたのは幕府の統制もさることながら周辺88ヶ村と地元の村々が協力してことにあたったことからだろう。なお、現在は、真岡市堀込地内の用水路に堰を設けそこから取水しており、鬼怒川の地下を経て吉田用水に取り入れている。

※林氏の説明資料から抜粋して掲載しています。



別処山公園方面へ向かう吉田用水



林さんは、旧南河内町役場で町史編さん室長を歴任、町史にとっても詳しいんだ。

鬼怒川は暴れ川と呼ばれていたんだ。東根供養塔（写真右）は、河川のはん濫で亡くなった方々を供養している説もあるよ。



吉田用水土地改良区

所在地：結城郡八千代町菅谷1187-1

受益面積：2,127 ha

受益地：茨城県結城市、八千代町、古河市、下妻市、常総市、坂東市

出 展：平成25年1月発行「茨城の土地改良第352号」



つながッテルね！ 条例6条

（情報提供）

第6条 議会及び市は、その保有する情報について市民との共有財産であるとの認識に立ち、積極的に、かつ、分かりやすく市民への情報提供に努めるものとする。

第40回を迎えた天平の花まつり～ごみの山を宝の山に～

今の天平の丘公園内に、昭和38年に国分尼寺跡が発見されました。当時は人里離れた山林でしたので、不法投棄によるごみの山でした。昭和39年から5年に及び発掘作業が行われ全国に例を見ない尼寺の全容が解明されました。ごみを整理し、きれいな山林になりましたが、史跡周辺の整備を進めると同時に、目玉事業を探していた当時の国分寺町長(故 若林英二氏)が全国に小さな町をアピールするには、花まつりが一番と構想を固め、旧町職員も桜の植林に参加し、木々が成長したことから、天平(国分寺)の花まつりを、昭和55年4月に始めました。回を重ねるごとに、モニュメント「銭石」や野外ステージの設置、民俗資料館「夜明け前」のオープン、坊ちゃん列車の運行とバージョンアップを図ってきました。まつりも40回を迎え、期間中を通じて長く楽しめるように桜の種類を増やしました。また、ボランティアによる観光ガイドも持ち味のひとつです。

こんにちの姿は、まさに、^{すがたせいぶつこうだいち}ごみの山が宝の山に変貌した事になります。^{へいびりんかい}また、園内の美観は、^{すがたせいぶつこうだいち}姿西部考古台地コミュニティ推進協議会等や平美林会その他、^{へいびりんかい}多勢のボランティアによる定期的な清掃活動に支えられて、保たれています。

資料提供 問合せ先 一般社団法人下野市観光協会
TEL:0285-39-6900

実は、昭和62年に天平の花まつりと名付けられたんだ。それまでは、国分寺の花まつりと呼ばれていたんだ。



◆平成年間の主な植樹 (産地または寄贈者)◆

平成 8年 石割桜 (盛岡市)、滝桜 (福島県三春町) 平成 16年 神代桜 (北杜市長)
平成 26年 関山桜、啓翁桜、八重曙、山桜 (宝くじ桜寄贈事業) 平成 28年 河津桜・花桃 (はくつる会) 鬼無稚児桜 (高松市長)



天平の丘観光ガイドのおもてなし～花まつりの影の主役～

園内のガイド活動は、平成 22年 4月に始まり、メンバーの皆さんは、定期的に勉強会や外部研修を行いスキルアップに取り組んでいます。

メンバーは60代の男女11人で構成され、花まつりの期間は、交代で活動を行っています。また、英語が堪能なボランティアが戦力に加わり、パワーアップを図っています。

活動は、ボランティア天平の丘観光ガイドのほか、万葉植物園の管理も行っています。会では、仲間を募集しています。詳しくは広報しもつけ2019年8月号の37ページを参照ください。市HPからごらんいただけます。

下野市の歴史とロマンに思いをはせてもらい、また来たいと思ってもらえたら、うれしい。



つなごうテルね!
条例4条

(自治の基本理念)

第4条 市民が主役のまちづくりを推進することを基本理念とする



下野市の緑資源の 希少性と重要性

宇都宮大学名誉教授 谷本丈夫

宇都宮大学の
谷本名誉教授に
伺いました



市内に残る山林は、社寺の格式を高める宮飾り林や寺飾り林、屋敷林、大切な燃料を供給した薪炭林や、鋤の柄などの器具・建築用材林から引き継がれたものです。21世紀は環境の時代として話題になり、令和になっても残された緑、山林は、市民にとって生活を豊かにする大切な環境資源です。自治医大駅付近のニュータウンは、現代の屋敷林ともいえる緑の多い町割になっていますが、街路樹の緑をめぐらして野鳥が集まって、衛生上あるいは騒音、交通信号が見えないなどの問題が生じています。また、せっかくの山林・公園の樹種名が判らない。こうした問題を解決するために『下野市自然に親しむ会・木を知ろう森を知ろう会』など多くの市民がボランティアとして活動されています。環境資源としての樹林の保護・保全是、手つかずが良く、管理はするべきではないなど、さまざまな意見があります。かつて、山林はそれぞれの目的で大切に手入れされていました。市内に残された緑資源は、豊かな市民生活のために、その維持目的に応じた適切な管理が必要で、市民参加の森づくりの活動はとても意義あることです。「下野市の森づくり」として発展し、豊かな緑保全の担い手となられることを祈っています。

らいさまNEWS

市民アンケートにご協力ください

今年度は、総合政策課、市民協働推進課、安全安心課、高齢福祉課で市民アンケートの実施を予定しています（総合政策課のアンケートは7月末をもって締め切りました）。各種計画の策定にあたり、皆さんの意見をきかせていただくものです。アンケートの依頼が郵送で届いた際には、内容をお確かめいただき、お手数ですが、回答にご協力をお願いします。【自治基本条例第12条 市民の権利】

Quiz



キ/ハ/テ ©1 (2022)

クイズ1

雷電神社に祭られているのは 次のどれでしょうか？

- ①蒲生君平 ②二宮尊徳翁 ③菅原道真公

クイズ2

【これは何の木でしょうか？】

姿川アメニティパークの一角に不思議な形をした花が咲いていました。チューリップのような形をしたこの花を来年の5月ごろ探してみてください。

撮影 令和元年5月28日

編集後記



らいさまの発行号数が10号になるということは、5年間の編集をお手伝いしてきたという感慨があります。まちづくりは人づくりに帰着します。毎回市民にお伝えしたい特集のサブテーマづくりが、地方自治の本質に繋がっているかどうかいつも気に掛けています。

取材を兼ねて改めてまち歩きをすると新しい気付きがあったり、いろいろな方と巡り合えることが何にも増しての楽しみです。超高齢化社会になった今、高齢者の社会参加と自立を促すためにも、本紙の果たす役割は大きいと思料します。(鈴井記)

【表紙】下野市都市公園 姿川アメニティパーク